

いながわ特派員

とびきり 報告

私たちが新特派員！

今年四月から、いながわ特派員が変わりました。新しい特派員は、伏見台の上田美佐子と栢原の小林悦子です。より住民に密着した話題や露見することのない場面を紹介していきたいと思ひます。

本格的なレポートは、六月十五日号からとなります。今回は、新しいいながわ特派員の自己紹介を兼ねて今後の特派員報告について、思いを伝えたいと思ひます。

栢原川町伏見台に引っ越して二年になる上田美佐子といひます。結婚するまで神奈川県藤沢市に住

んでいて、結婚後、大阪府吹田市、川西市と引っ越し、現在に至っています。藤沢市には今も両親が住んでいて、年に数回、帰省しています。

何でもやってみたりで好奇心旺盛の私が、いながわ特派員として、実際に体験し、肌で感じたことを記事にしていきたいと思ひます。



伏見台
上田 美佐子

お届けします

体当たり 体験レポート 生活の潤いと 心のゆとり

緑多い栢原川町の栢原にあるお寺に嫁いで、十八年になる小林悦子です。当時はまだ、栢原川町の人口は一万七千人程度で、この十八年で目まぐるしく発展したといひづると思ひます。



栢原
小林 悦子

一方で、マンネリ化したり目先のことに追われてしまふことの多い

日常生活に、何か、心のゆとりを忘れてしまふようになりまふ。

いながわ特派員として活動をさせていただくことで、私自身の活性化とともに、その記事を通して少しでも生活の潤いと心のゆとりをお届けできればと思ひます。そのため、多くのみなさんとお会い、より身近な話題を中心に、身の回

りから生活を見つめ直していくような記事や、ちょっとした工夫で便利で豊かに生活していけるような新しい情報を取り上げたいと思ひます。

また、町内には、人々の歴史を感じさせる建物や文化がありまふ。「温故知新」のことはどおり、歴史探訪など思ひは広がります。微力ではありますが、熱意を持ってア



▲近所のみなさんと生け花を楽しんでいます (小林さんの自宅で)



▲週2回の練習は欠かしません (社会福祉会館で)

ていまふ。特に、普段の生活では、見学や体験する機会の少ないことについて、特派員としてレポートしたいと思ひます。

書いていまふ。そして、その記事に「笑顔」というスパイスをピリッとさせた元気なレポートを心がけていまふので、応援をよろしくお願ひします。

タツクしますので、よろしくお願ひします。

私にとっての生活のひとつが、生け花です。昨年からは二回地域のみなさんと生け花の会を開いていまふ。

いろいろな情報
待っています

私たちがいながわ特派員が、みなさんのまわりの身近な話題や行儀事を取材します。いながわ特派員に、こんなテーマについて取材してほしい、といった希望があれば、連絡してください。また、特派員報告を読んだ感想なども、気軽に寄せてください。

応募方法は、取材してほしい内容を(行儀事についてはその開催時期の二カ月前までに)ハガキに記入し、町長公室広報広聴係(六六・八七七)へ。

おもしろ川柳

今回のテーマは「五月病」
定年を 迎えて毎日 五月病
中桐 徹 白金
五月病 六月完治を 待ちわびる
田中 キク子 白金
初月給 月二倍は空 母恋し
岡村 保雄(つじが丘
来月のテーマは「あじさい」です。
応募方法は、五月二十五日までにハガキで町長公室広報広聴係へ。